

ロボット関連の平成27年度予算概算要求について

- ロボットを、少子高齢化の中での人手不足やサービス部門の生産性の向上という日本が抱える課題の解決の切り札とし、世界市場を切り拓くためには、各分野におけるロボットの研究開発から実証・実用化、導入・普及までの支援が不可欠。
- 各府省においては、分野ごとのロボットの開発・活用状況を踏まえ、ロボット関連予算の平成27年度概算要求を実施しているところ。※本資料は各府省よりロボット関連予算として登録されたものを整理したもの。
- 今後、「ロボット革命実現会議」において、アクションプランとして「5カ年計画」を策定予定。

	導入実証段階	市場化技術開発段階	次世代技術開発段階
ものづくり・サービス業等分野	ロボット導入実証事業【経産省】(22億円)	ロボット活用型市場化適用技術開発プロジェクト【経産省】(15億円)	次世代ロボット中核技術開発【経産省】(10億円)
介護・医療分野	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業【厚労省】(0.9億円)	ロボット介護機器開発・導入促進事業【経産省】(30億円)	ICTを活用した自立行動支援システムの研究開発【総務省】(5億円)
	次世代医療・介護・健康ICT基盤高度化事業【総務省】(13億円の内数)		
	革新的医療機器・再生医療等製品相談承認申請支援事業【厚労省】(0.5億円)		
	次世代医療機器審査指標等整備事業【厚労省】(0.4億円)		
	障害者自立支援機器等開発促進事業【厚労省】(2.5億円)		
農林水産業・食品産業分野	農林水産業におけるロボット革命の実現に向けた導入実証事業【農水省】(22.3億円)	革新的技術創造促進事業(ロボット革命実現化事業)【農水省】(8億円)	生産現場強化のための研究開発(委託プロジェクト研究)【農水省】(20億円)
	スマートで安全な農業確立総合対策事業【農水省】(1.7億円)		SIP: 次世代農林水産業創造技術のうち、農作業管理を精密に自動化するスマート農業を実現するための研究開発【内閣府】(500億円の内数)
インフラ・災害対応分野	次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進【国交省】(3.9億円)	インフラ維持管理・更新等の社会課題対応システム開発プロジェクト(うちロボット部分)【経産省】(7.5億円)	SIP: インフラ維持管理・更新・マネジメント技術のうち維持管理ロボット・災害対応ロボットの研究開発【内閣府】(500億円の内数)
			IT機器・産業基盤災害対応のための消防ロボットの研究開発【総務省】(2.5億円)
その他・次世代基盤技術	こうのとりによる遠隔制御輸送船【文科省】(④)		ロボティクス・スタートアップ挑戦人材応援プロジェクト【文科省】(8億円予定)
	日本独自の宇宙ロボットアーム技術【文科省】(④)		SIP: 次世代海洋資源調査技術のうち自律型無人探査機の複数機同時運用手法、遠隔操作型無人探査機の高効率海中作業システム等の開発【内閣府】(500億円の内数)
	次世代大深度高機能遠隔操作型探査機の整備【文科省】(⑤)		人間と調和した創造的協働を実現する知的情報処理システムの構築【文科省】(①)
	27年度新規要求事項	全体要求額: 160.2億円 + α ※	資源探査用自律型無人探査機(AUV)の開発【文科省】(⑤)
	各省連携して実施している事項		石黒共生ヒューマンロボットインタラクションプロジェクト【文科省】(①)
	継続・拡充要求事項		理研 BSI - トヨタ連携センター【文科省】(②)
			ロボットは東大に入れるかプロジェクト【文科省】(③)

※内数表記の要求額は足しあげず、+αとして示した。また、予定額を含む数値である。
注: この他、「革新的研究開発推進プログラム(ImPACT)【内閣府】」においても事業実施。(25年度補正予算により基金化済)

(①)科学技術振興機構運営費交付金の内数 (②)理化学研究所運営費交付金の内数 (③)国立大学法人運営費交付金(国立情報学研究所)の内数 (④)国際宇宙ステーション開発費補助金の内数 (⑤)海洋研究開発機構運営費交付金の内数